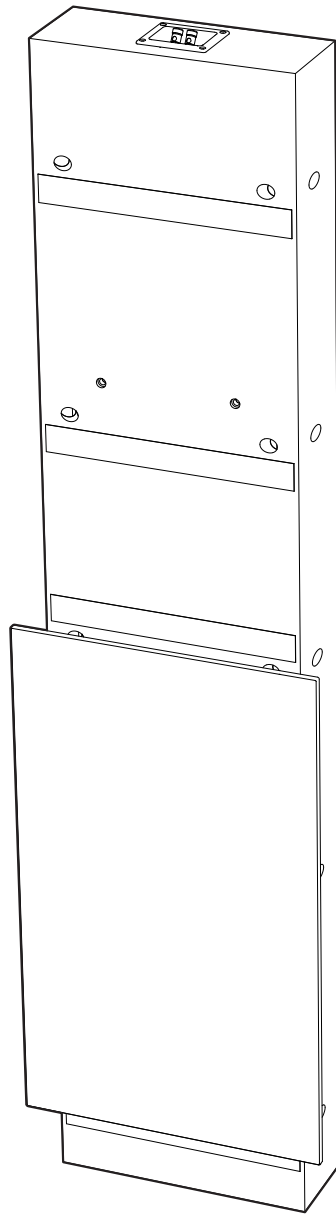




SYNTHESIS[®]



JBL[®] Synthesis SSW-3

インウォールSUBWOOFER

取扱説明書

JBL®をお選びいただき、ありがとうございます。

70年以上の間JBLは、ライブ・パフォーマンスから家、車、オフィス内で再生する音楽のレコーディングのモニタリングまで、あらゆる音楽と映画のレコーディングおよび再生シーンに関わってきました。

お客様が選択されたこのJBL Synthesisラウドスピーカーは、お客様が期待するあらゆる楽しい雰囲気をご提供します。従って、お客様が家、車、職場にオーディオ機器の追加購入をお考えの場合、再びJBL製品を選択されることを確信しております。

当社のウェブサイトwww.jblsynthesis.comにお持ちの製品を登録してください。そうすれば、当社の最新情報を受け取ることができ、お客様に対する理解を深め、そのニーズと期待に応える製品を作るのに役立ちます。

全ての特性と仕様は予告なしに変更されることがあります。

同梱品

1. SSW-3 Subwooferx1
2. SSW-3BB/バックボックスx1
3. グリルx1
4. グリル用のスクリーン布x1
5. 取扱説明書x1
6. センタリング・ブロック(取り付け済み)
7. スペーサー (0.625インチドライウォール用)x1
8. センター・スペーサー (0.625インチドライウォール用)x1
9. ねじ(パッフル組み立て用)x20
10. 内張り材6インチx6インチx1
11. Styrofoamブロック (BBの支えとして使用)x2
12. 木ねじx30mm (センタリング・ブロックを取り外した際のねじ穴充填用)x2
13. ポリウレタン・ブッシュ (ウォール・スタッドへのBB取り付け用)x10
14. フラット・ワッシャー (ウォール・スタッドへのBB取り付け用)x10
15. ø5x90MM (ウォール・スタッドへのBB取り付け用)x10

設置

低周波サウンドは通常、全方向性です。リスナーはそのサウンドがどこから出ているか知ることはできません。しかし、75Hzと150Hzの間の周波数は必ず認識できます。特に、音量が大きいほどそうなります。推奨されるsubwooferのポジショニングにより、ラウドスピーカー・システムが最も自然なサウンドステージとイメージングを提供します。

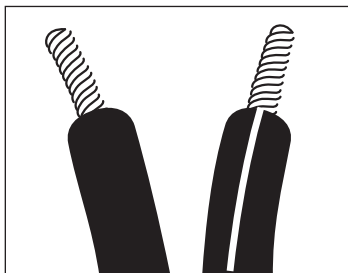
通常、フロント・ラウドスピーカーを置いているのと同じ壁に沿ってSSW-3インウォールsubwooferを設置することを推奨します。SSW-3 subwooferはビデオシールドされていないので、ビデオ・ディスプレイの近くに設置しないでください。SSW-3を部屋の隅近くに設置すると、低周波出力を最大限にしやすいです。隅に設置する場合は、「ブーミー」なサウンドにならないようにご注意ください。アルコーブといった、通常とは異なる部屋の特性も考慮してください。アルコーブは部屋の中に、低音域レスポンスに影響する可能性のある局所的な定常波を生み出すことがあります。

また、スピーカーの底面が床から約12インチ(約30.5センチ)になるようにスピーカーを設置することをお勧めします。SSW-3BB/バックボックスのエンクロージャーを使えば、確実にラウドスピーカーを理想的な高さに設置することができます。これは、低周波装荷(低音の補強)に役立ちます。さらに、スピーカーを目に付きにくくするのも役立ちます。特殊な環境では、スピーカーを壁のどの高さにも設置することが可能です。

これは単なるガイドラインであることにご留意ください。リスニングルームはそれぞれ異なっているので、JBLは最も良い結果が出せるように、部屋の壁に穴を開ける前にsubwooferのポジショニングを試すことを強くお勧めします。理想的なsubwooferの位置を見つけるのに役立つテクニックのひとつは、独立したsubwooferを一時的に借り、通常のリスニング位置の近くに置くことです。次に、部屋の中で動かして、最も快適なバス・パフォーマンスが聞こえる位置を決定してください。そこが、subwooferを置く理想的な位置です。

2基のSSW-3インウォールsubwooferシステムをお使いになる場合は、音波が互いに打ち消し合うことがあるので、位相への注意が必要な場合があります。低音域レスポンスが不十分だと感じられる場合、片方のsubwooferの極性を逆にしてみてください。つまり、アンプの(+)端子をスピーカーの(-)端子に、アンプの(-)端子をスピーカーの(+)端子に接続するのです。

スピーカー接続



SSW-3はパッシブsubwooferなので、スピーカーレベル配線しかご利用いただけません。SSW-3 subwooferは、JBL® Synthesis SDAアンプと合わせて使用するよう特別に設計されています。また、JBL SDA-4600アンプの使用により、最高の音の強弱と周波数特性を実現するように最適化されており、SDA-4600アンプは特許取得のSSW-3チューニング・ファイルを使用し、SSW-3の特徴であるリアクティブ負荷インピーダンスを駆動させるように特別に設計されています。SSW-3と共に、別のSDAアンプを使用する場合、SSW-3チューニング・ファイルの適切な調整と読み込み用に認証されたSynthesisインストーラーをつなぎます。SSW-3は1つのSDA-4600アンプチャンネルを動力源とすることが可能です。

スピーカーと電子回路はプラス(+)とマイナス(-)端子に対応しています。JBLを含むスピーカーと電子機器の大部分のメーカーは(+)端子に赤を使い、(-)端子に黒を使って示しています。両方のスピーカーを同様に接続することが重要です：スピーカーの(+)をアンプの(+)に、スピーカーの(-)をアンプの(-)に接続します。「逆相」に配線すると、結果的に薄っぺらいサウンド、弱い低音、貧弱なステレオ・イメージになります。マルチチャンネル・サラウンド・サウンド・システムでも、プログラム・サウンドの適切な臨場感と指向性を保つために、システムの全てのスピーカーを正しい極性で接続することが同様に重要です。

2基のSSW-3 subwooferをお使いの場合、両スピーカーの配線は同じ長さである必要があります。1基のスピーカーが他の機器よりもアンプの近くに配置されている場合、壁の後ろに余分なワイヤーを隠してください。低音域レスポンスが不十分だと感じられる場合、2基のsubwooferが互いに音波を打ち消し合うという、フェーズの問題である可能性があります。低音域レスポンスが不十分だと感じられる場合、片方のsubwooferの極性を逆にしてみてください。つまり、アンプの(+)端子をスピーカーの(-)端子に、アンプの(-)端子をスピーカーの(+)端子に接続するのです。

SSW-3/バッフルを接続するには、低い方のバッフル開口部でバッフルを支えます。0.625インチのスペーサーをバックボックスの開口部にはめる際は、「設置ガイド」セクションをご覧ください。分極ロッキング・コネクタの接続を解除する1組のワイヤーを、バックボックス内に取り付けます。分極ロッキング・コネクタを接続したバッフルから、短いワイヤーのリード線に直接接続できるように、ワイヤーを正しい向きに整列させて、必要なプレースの開口部を通します。バックボックス開口部でバッフルを前後に揺らし、設置して、バッフル取り付けねじを締める際にワイヤーの接続経路が正しく、バッフルとプレースの間にワイヤーが挟まっていないことを確認します。バックボックス・ワイヤーのリード線からバッフルのリード線の接続コネクタまで、分極ロッキング・コネクタを接続します。簡単に接続できます。力任せにはめ込んでいるように感じられる場合は、コネクタの接続を再確認し、プラグ接続する前に、必要があればコネクタを回して正しく取り付けます。ここでロックの「カチッ」という音がすることを確認します。バッフルを取り付けるため前後に揺らす際に、バッフルと取り付けた分極ロッキング・コネクタ間に6インチx6インチの絶縁素材が配置されていること、バッフル内部でガタガタ揺れないことを確認します。バッフル周辺部用の5/8インチ化粧ボードと取り付け用0.625インチスペーサーをお持ちの場合、バックボックスにバッフルをねじで固定する前に、プレース用の0.625インチ・センタースペーサーが取り付けられていることを確認します。

SSW-3/バックボックスの一端でプッシュタイプ端子を使用するには、インデント・ポストの通し穴が現れるまでカラーキャップを押し下げます。キャップを押し下げながら、ワイヤー、またはバナナプラグのむき出しの端を通し穴に差し込みます。キャップを離し、ワイヤーを慎重に引っ張り、固定されていることを確認します。

注:最初にワイヤーを通してからバックボックスに接続し、バックボックスを設置して、次にバッフルを取り付け、最後にパワーアンプにワイヤーを接続することをお勧めします。

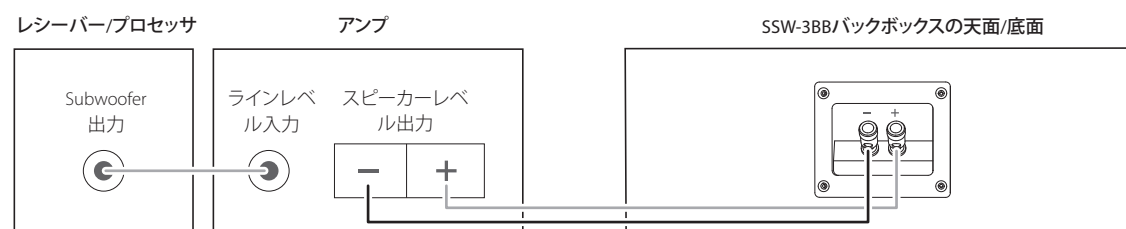
メインレシーバーまたはプロセッサのラインレベルsubwoofer出力をお持ちのsubwooferアンプのラインレベル入力に接続してください。

次のセクションに記載されている通りにSSW-3BB/バックボックス・エンクロージャーを設置した後、SSW-3/バックボックスから出たワイヤーの端を、正しい極性を守っていることを確認して、subwoofer/パワーアンプのスピーカー出力端子に接続します。

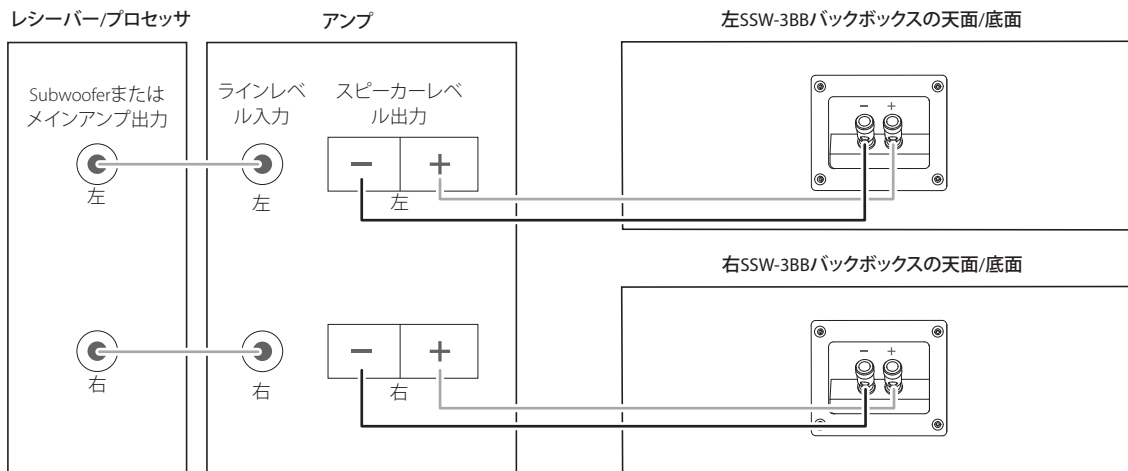
ステレオモードで2基のSSW-3 subwooferシステムを使うと、パフォーマンスの改善、優れたイメージングといった好ましい効果があります。モノラルsubwooferアンプを使って、レシーバー/プロセッサの左または右どちらかのsubwoofer出力にそれぞれを接続してください。または単体の2チャンネルsubwooferアンプを使って、お持ちのアンプの対応する入力にレシーバー/プロセッサの左右のラインレベルsubwoofer出力を接続してください。次に、1基のSSW-3サブフーア・システムに、各チャンネル用の陽電極および負電極端子を接続してください。

ワイヤーの長さ	推奨サイズ
最高20フィート	16ゲージ
最高30フィート (約9.1メートル)	12ゲージ
30フィート (約9.1メートル)超	10ゲージ

モノラルモードで1基のSSW-3 SUBWOOFERを使用



ステレオモードで2基のSSW-3 SUBWOOFERを使用



設置ガイド

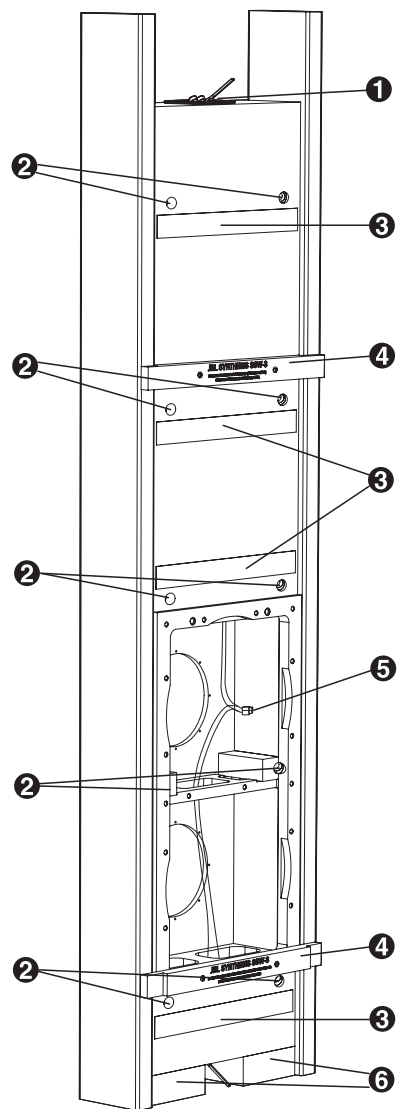
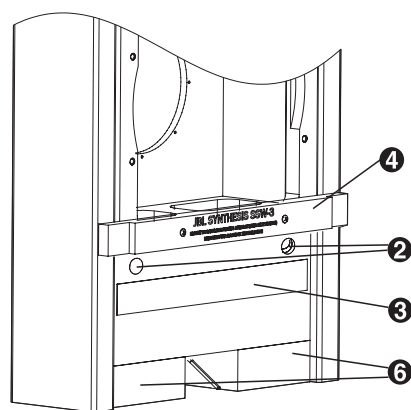
SSW-3全ラウドスピーカー・システムには、SSW-3インウォールsubwooferとSSW-3BB/バックボックスが付属しています。これらの部品は別々に梱包されています。

設置するには、ウォール・スタッド間のスペースを見つける必要があります。従って、新たに使用する場合は、化粧ボードの前に、SSW-3BB/バックボックスを設置します。

すでに設置されている場合は、バックボックスに取り付けるベイ側の、スタッドに当たる化粧ボードの部分を慎重に取り除きます。これで、設置が完了した後、ねじでスタッドをボードに取り付けることができます。スピーカーの設置が完了するまで、化粧ボードを安全な場所に保管します。

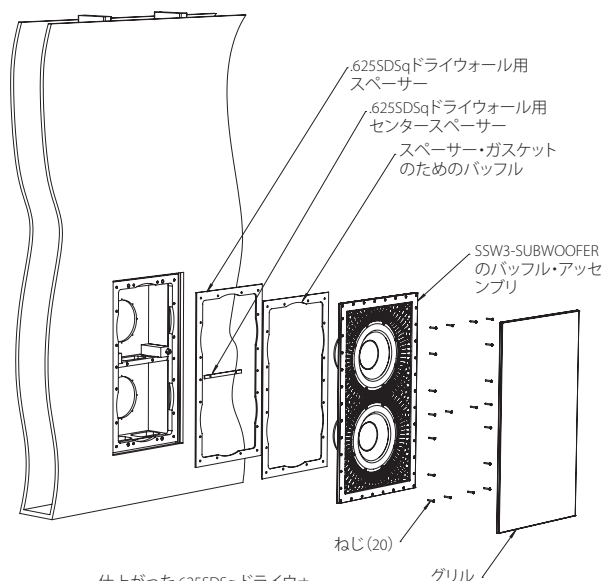
- ① **端子カップ:** Subwooferアンプからこれらの端子まで、スピーカーワイヤーを接続します。バックボックス底面にある端子カップを使うこともできます。端子カップは並列に配線されているので、どちらのカップでも使うことができます。
- ② **プッシュ用取り付け穴:** SSW-3は、スプリングとして機能するプッシュシステムを採用しており、スピーカーは部屋や壁の振動の影響を受けません。それぞれの穴にプッシュを取り付けます。
- ③ **ダンピング・パッド:** このパッドはアインソレーション・システムの一部であり、好ましくない共鳴を防ぎます。このまま定位置に置く必要があります。
- ④ **センタリング・バー:** 付属の皿頭ねじを使用して、このバーをSSW-3BB/バックボックスにねじで固定します。バーの端は、バックボックスの奥行を適切にするためにスタッドに接合しており、設置中でも取り付けることができます。
- ⑤ **スピーカーワイヤー:** バックボックス・ワイヤーのリード線からパツフルのリード線の接続コネクタまで、分極ロッキング・コネクタを接続します。
- ⑥ **Styrofoamブロック:** このブロックはSSW-3BB/バックボックスを支え、最適なパフォーマンスができるように、確実にスタッドベイを正しい高さに取り付けられます。スピーカーシステムを部屋の共鳴から切り離すのにも役立ちます。

詳細A:



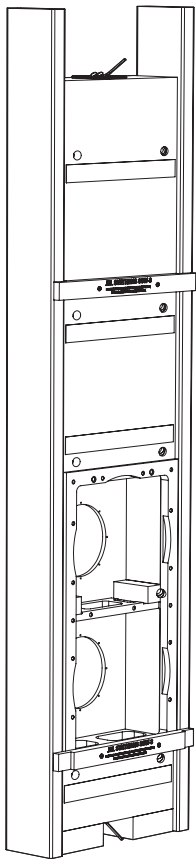
設置:

1. Styrofoam™ブロックをスタッドペイの底板上に敷きます。SSW-3BB/バックボックスはブロックのてっぺんに置きます。
2. 詳細Aに示されている通りに2本のセンタリング・バーを取り付けます。センタリング・バーはエンクロージャーの奥行の設定用です。正しい位置でエンクロージャーを固定するために左右のスタッドに取り付けることができるので、エンクロージャーを水平に設置するのも役に立ちます。
3. バックボックスの直近の端にアンプの出力ワイヤーを接続します。まだワイヤーが配線されていない場合、まず壁にワイヤーを通し、記述されているように接続します。エンクロージャーを壁にはめ込みます。SSW-3BB/バックボックスの底面はステップ1の2×4の基板に置くStyrofoamブロック⑥のてっぺんに置かれます。
4. この時点で、スタッドにエンクロージャーを取り付けるため、木のセンタリング・バーの両端にねじを通してみてください。これにより、エンクロージャーが所定の位置に固定されます。
5. 取り付け穴②に10個のプッシュをそれぞれ取り付けます。ラバープッシュの一端を穴に差し込み、次に付属の5インチデッキねじのシャフトにフラットワッシャーを通し、ねじをプッシュに挿入して、プッシュを通してウォール・スタッドにデッキねじをねじ込みます。
6. 直ちにエンクロージャーを設置し、その上に化粧ボードを取り付ける準備をします。センタリング・バーを取り外し、木ねじを使ってSSW-3BB/バックボックスの穴を塞ぎます。ドライウォールのカットアウト寸法は26インチ(高さ)x15インチ(幅)(660.4mmx381mm)です。
7. バッフルの分極ロッキング・コネクタとスピーカーワイヤーのもう一方の端をアンプに接続し、バックボックスがアンプに適切に接続されていることを確認する低レベルテストを行うためには、このステップを経るのが賢明です。一度正しい接続が確認できれば、アンプからバッフルとスピーカーワイヤーの接続を解除し、次へ進みます。
8. 化粧ボードの厚さを決定します。1/2インチの場合、バッフルの設置(#9、このページ)へと進みます。5/8インチの場合、開口部の端に、付属の1/8インチ角形スペーサーを取り付け、1/8インチの角形ストリップ・スペーサーのPSA裏張りを剥がし、プレースの上面に取り付けます。
9. 「スピーカー接続」で示された手順に従って、バッフルに分極ロッキング・コネクタをワイヤー接続します。余分なワイヤーと接続されたコネクタを6インチx6インチの内張り材で覆うことを忘れないでください。開口部のちょうどいい位置にバッフルを固定します。
10. 右のイラストに示されているように、20本のねじを使ってSSW-3BB/バックボックスにSSW-3/バッフルを取り付けます。
11. バッフルのすぐ外側の一端に揃えてグリルを取り付け、ゆっくりとグリルのもう一方の端をバッフルに近づけて離します。グリルの取り付けマグネットは強力であり、バッフル、グリル、または壁が傷つく危険を最小限にするため、グリルの約1/16インチのところで離してください。

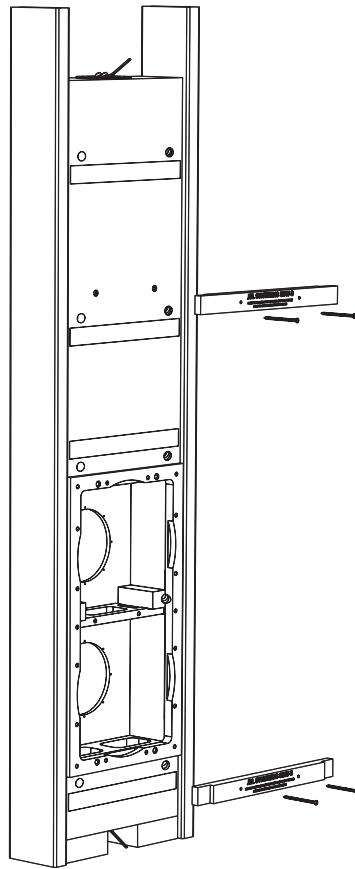


仕上がった625SDSqドライウォールに設置されたバックボックス

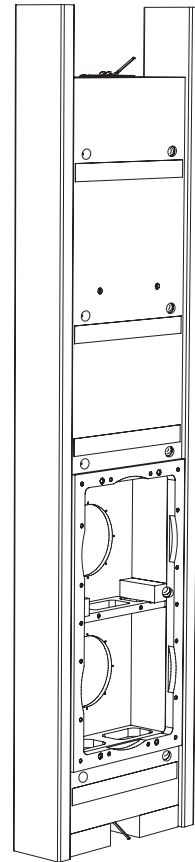
警告: バッフル取り付けねじを締めすぎないでください! バッフル用ねじを固定するために電動工具を使用する場合は、ガスケットがちょうど設置面に接触する壁まで、バッフルを十分に引っ張れるように、一番低いクラッチ設定にします。ガスケットを適切に密封し、防振するには、残りの部分を最大で約8~16インチポンド(in-lbs)の力で、手で締めます。(これは、バッフル・ガスケットがちょうどエンクロージャーと壁面に接触した時点からの、ねじ頭の約1/2回転に相当します)。



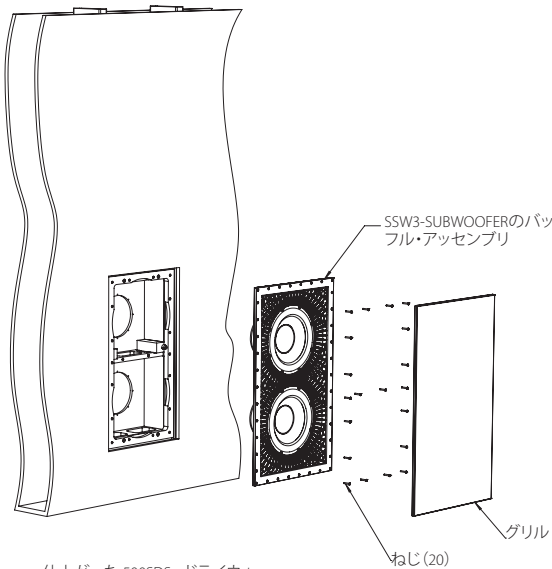
センタリング・ブロック (取り付け済み) 付きのバックボックスを配置し、スタッドペイに設置。



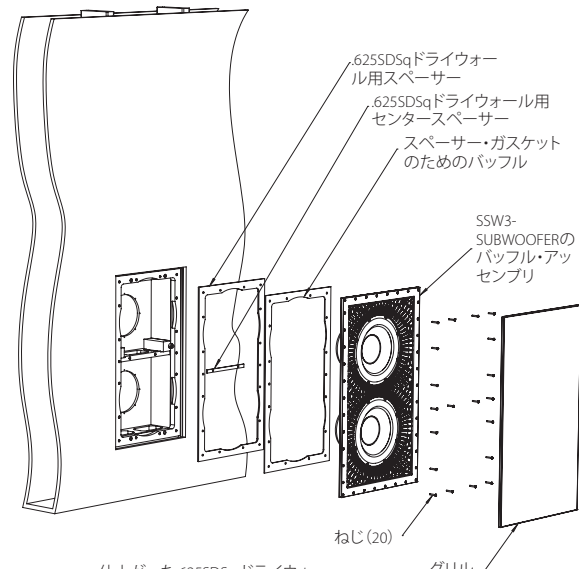
バックボックスの設置後、センタリング・ブロックを取り外す



バックボックスを設置し、センタリング・ブロックを取り外した後、SSW3-BBの上部の(2)つの穴は木ネジで塞ぎ、下部の(2)つの穴はパッフルガスカートで密閉。



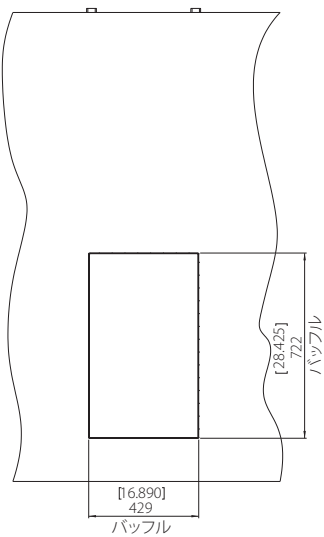
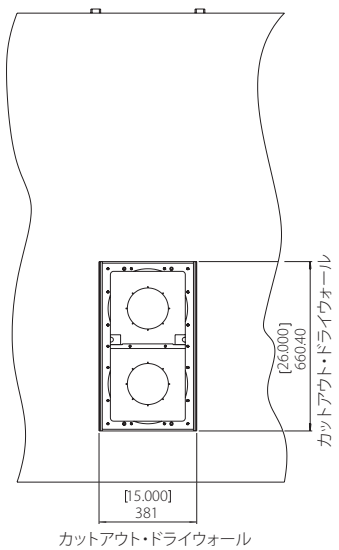
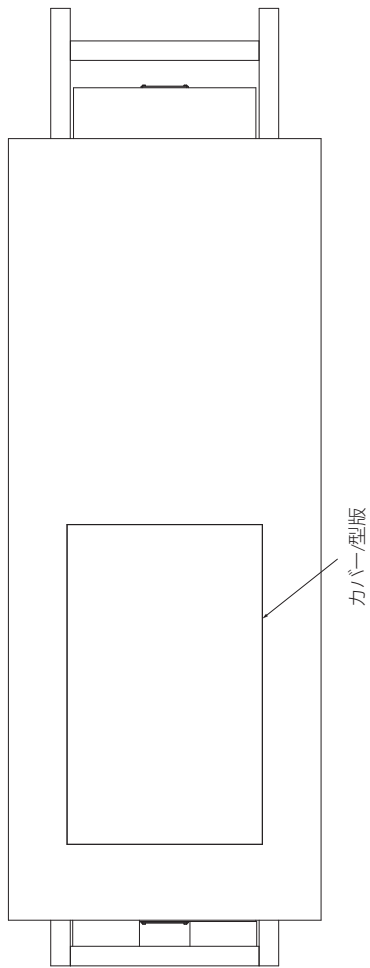
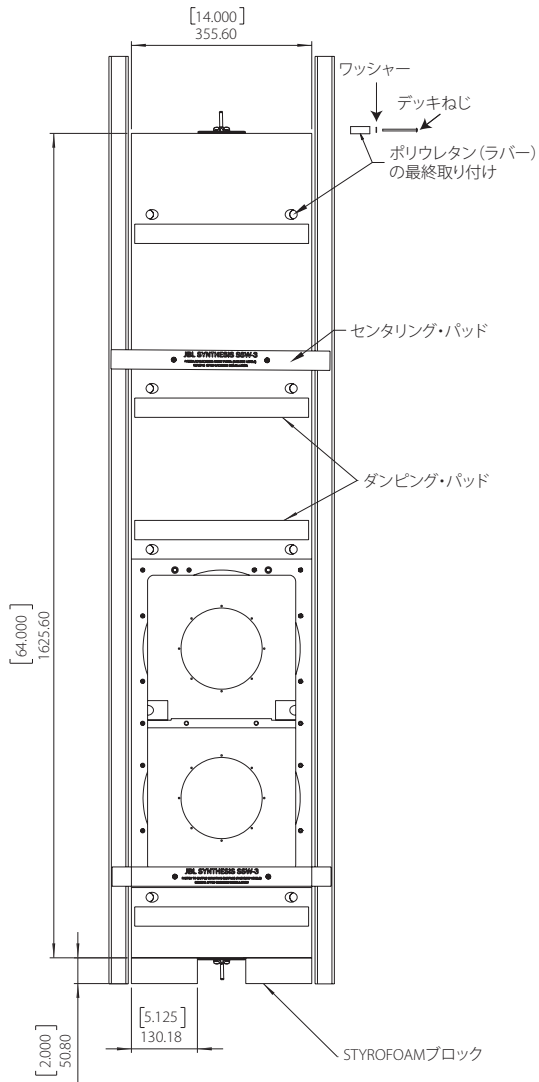
仕上がった500SDsqドライウォールに設置されたバックボックス



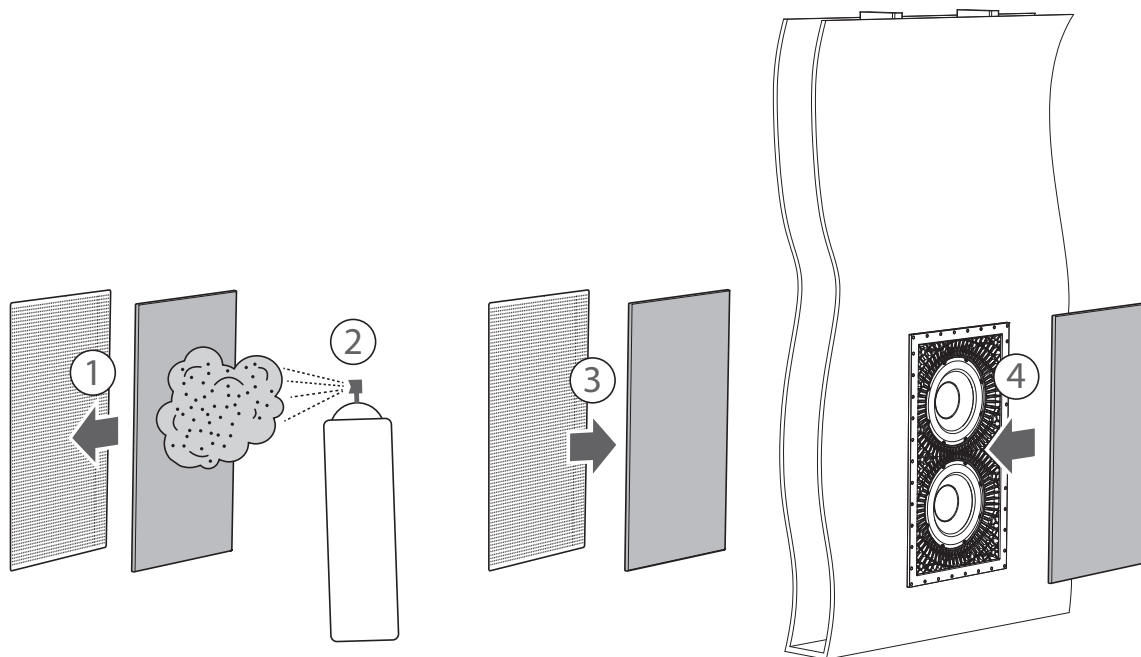
仕上がった625SDsqドライウォールに設置されたバックボックス

注:設置位置によっては、設置後キャビネットの先端へ容易に手が届かないことがあります。その他の設置では、ウーファーを床よりも天井に向けてると最も良く機能します。これら2つの要素のために、当社はSSW-3の両端に入力端子を並列配線で設置しました。1セットの端子にだけ接続すれば良いので、最も手の届きやすいセットを使用することができます。

寸法図



グリルの塗装



1. グリル背面からスクリム布を丁寧に剥がします。アルコールでグリルの両面をきれいにします。必要な場合はマスキングテープでエッジトリムをカバーすることができます。
2. アルコールが蒸発したら、表面が傷つかない地面の不要な段ボールの上にグリルを置きます。スプレー缶またはスプレーガンを使い、複数の工程で少量ずつグリル前面を塗装します。均一にスプレーするようにして、急激に塗装を厚くしようとしないでください。塗装でどこかの穴が塞がった場合は、ピンや細いワイヤーで穴を開けます。このステップでは、適切で安全な服装と保護処置を取ってください！
3. 一度塗装が乾いたら、グリルをひっくり返し、スクリム布をグリル背面に再度貼り付けます。スクリム布を剥がす時に破れたり、傷んだ場合は、同封のスペア布を使用できます。布が以前ほど背面に貼り付かない場合は、グリルの背面に3M 77のような少量の接着スプレーを塗布し、スクリム布を貼り付けます。接着スプレーが泡を作っていない、または穴を塞いでいないことを確認します。
4. 5ページの手順#11を参照してSSW-3にグリルを取り付けます。

トラブルシューティング

症状	解決策
スピーカーから音が出ない場合	<ul style="list-style-type: none"> レシーバー/アンプの電源が入っていて、ソースが再生中であることをチェックしてください。 レシーバー/アンプとスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。 レシーバー/アンプを適切に操作していることを再確認してください。
1基のスピーカーから音が出ない場合	<ul style="list-style-type: none"> レシーバー/アンプのバランス・コントロールおよびチャンネル出力レベル設定をチェックしてください。 レシーバー/アンプとスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。マルチチャンネル・アプリケーションで、レシーバー/プロセッサが、使用している全チャンネルで使用可能な設定になっていることをご確認ください。
subwooferを通してバス出力が低い(または、出ない)、または中音域周波数(ボーカルなど)しか聞こえない場合	<ul style="list-style-type: none"> スピーカー入力への接続が正しい極性(+および-)になっていることをご確認ください。2基のSSW-3 subwooferをお使いの場合、片方のsubwooferの極性を逆にしてみてください。 一部のプロセッサ(レシーバー)とサラウンド・モードでは、最初からsubwoofer出力が無効になっている場合があります。プロセッサまたはレシーバーの取扱説明書を参照して、subwoofer出力を有効にしてください。 Subwooferへのクロスオーバー周波数の設定が高すぎる場合があります。プロセッサまたはレシーバーの取扱説明書を参照して、subwooferのクロスオーバー周波数を低くしてください。
システムの再生音量が小さくて、音量を上げると電源が切れる場合	<ul style="list-style-type: none"> レシーバー/アンプとスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。 2組以上のメインスピーカーが使用されている場合、レシーバー/アンプの最低インピーダンスの必要条件をチェックしてください。

仕様

周波数特性	20Hz~150Hz (-6dB)
最大推奨アンプ出力	1チャンネルにつき600W RMS
インピーダンス	公称4Ω
出力音圧レベル	88dB(2.83V/1m)、両方のウーファー駆動時
ウーファー	10インチ/250mmデュアル・コンボジット・コーン・ウーファー
SSW-3BBエンクロージャー寸法(HxWxD)	64x14x5.1インチ(1626mmx356mmx130mm)
取り付けカットアウトサイズ(幅×高さ)	15.5x66インチ(393.7mmx1676.4mm)
グリルサイズ(幅×高さ×奥行)	16.890x28.425x0.375インチ(429mmx722mmx9.53mm)
1基の重量	81ポンド(36.75kg)

全ての特性と仕様は予告なしに変更されることがあります。

アンプの最大推奨電力定格によって、確実にシステムのヘッドルームの不定期なピークを可能にします。当社は最大電力レベルで続けて作動させることを推奨しません。

JBL、Harman International、JBL SynthesisおよびSynthesisは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の登録商標で、米国やその他の国々で登録されています。

Styrofoamはザ・ダウ・ケミカル・カンパニー(Dow Chemical Company)の登録商標です。

Please visit JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM for additional language support on the user manual.

Veuillez visiter JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Visita JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM.

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、JBLSYNTHESIS.COMにアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM에서 확인하십시오.

请访问 JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM 以获取其他语言版本的用户手册。

Торговая марка:	JBL
Назначение товара:	Пассивная акустическая система
Изготовитель:	Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стэмфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения:	Китай
Импортер в Россию:	ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс», Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
Гарантийный период:	1 год
Информация о сервисных центрах:	www.harman.com/ru тел. +7-800-700-0467
Срок службы:	5 лет
	Товар не подлежит обязательной сертификации
Дата производства:	Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY0000000, где «M» - месяц производства (А - январь, В - февраль, С - март и т.д.) и «Y» - год производства (А - 2010, В - 2011, С - 2012 и т.д.).

Используйте устройство только по прямому назначению в соответствии с предоставленной инструкцией. Не пытайтесь самостоятельно вскрывать корпус товара и осуществлять ремонт. В случае обнаружения недостатков или дефектов, обращайтесь за гарантийным обслуживанием в соответствии с информацией из гарантийного талона. Особые условия хранения, реализации и (или) транспортировки не предусмотрены. Избегайте воздействия экстремальных температур, длительного воздействия влаги, сильных магнитных полей. Устройство предназначено для работы в жилых зонах. Срок годности не ограничен при соблюдении условий хранения.

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件 (不包括特定电子零件), 内部相关连接线	X	0	0	0	0	0
箱体	外壳, 面板, 背板等	X	0	0	0	0	0
特定电子零部件	变压器, 保险丝, 大型电解电容, 电源插座	X	0	0	0	0	0
附件	电线, 说明书, 包装等	X	0	0	0	0	0

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制

0: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EUP)符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。





ハーマン・インターナショナル株式会社(HARMAN International, Incorporated)
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

www.jblsynthesis.com

© 2019 HARMAN International Industries, Incorporated(ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)。無断複写・転載を禁じます。

JBLは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ 株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の、米国および/またはその他の国々の登録商標です。

特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。



パートNo. 950-0562-001